

# むかしの新聞を読む・調べる

新聞は、古くは江戸時代から現在に至るまで発行され続けてきた大衆の中心的情報源です。そしてその性質上、当時の世相を知るためには欠かせない歴史資料でもあります。しかし、その歴史の長さの記事の多さから、目当ての情報を何の準備もなしに見つけるのは極めて困難な作業だといえます。ここでは、資料の劣化も相まって記事を探すことがより難しい江戸時代末期～昭和前期(主に太平洋戦争終結まで)の新聞を調べるのに役立つ資料をご紹介します。

※Rがついているのは、図書館の中でご覧いただく資料です。貸出していません。

## 新聞そのものを読む 県立図書館内でご覧になれる明治～昭和前期の新聞をご紹介します。

R	朝日新聞(復刻版)	朝日新聞社	明治21年7月～
R	毎日新聞(マイクロフィルム)	毎日新聞社	明治5年2月～
R	福島民報(マイクロフィルム)	福島民報社	明治25年9月～
R	福島民友(マイクロフィルム)	福島民友新聞社	明治32年11月～昭和16年1月 昭和21年2月～
R	福島新聞(マイクロフィルム)	福島活版所	明治15年11月～昭和12年12月
R	福島日日新聞(マイクロフィルム)	福島日日新聞社	大正3年5月～11年8月
R	福島毎日新聞(マイクロフィルム)	福島毎日新聞社	大正14年11月～昭和6年1月
R	朝野新聞(復刻版)	ぺりかん社	明治7年9月～26年11月
R	郵便報知新聞(復刻版)	報知社	明治5年6月～27年12月
R	万朝報(復刻版)	万朝報社	明治25年11月～大正9年12月
R	婦女新聞(復刻版)	婦女新聞社	明治33年5月～昭和17年2月
R	融和時報(復刻版)	三一書房	昭和3年5月～20年1月

※復刻版をご利用の方は貸出・登録カウンター、マイクロフィルムをご利用の方は調査相談カウンターまでお申込み下さい。

## 新聞記事を探す

### ◆ニュース事典

R	明治ニュース事典 全8巻	明治ニュース事典編纂委員会, 毎日コミュニケーションズ出版部/編	毎日コミュニケーションズ	1983～	210.6/M18/
R	大正ニュース事典 全7巻	大正ニュース事典編纂委員会, 毎日コミュニケーションズ出版部/編	毎日コミュニケーションズ	1986～	210.69/T4/
R	昭和ニュース事典 全8巻	昭和ニュース事典編纂委員会, 毎日コミュニケーションズ出版部/編	毎日コミュニケーションズ	1990～	210.7/S33/

明治・大正・昭和前期(太平洋戦争終結まで)の各時代の新聞記事の内容を、事典形式にまとめなおしたものです。レイアウトが見やすく索引も充実しているため、記事を探る能力はピカイチ。

### ◆「新聞集成」系 新聞の紙面全てではなく、記事を抜粋して整理・編集したもの。有名な記事閲覧するのに便利。

R	新聞集成明治編年史 全15巻	中山 泰昌/編著	財政経済學會	1934～	210.6/M7/
明治時代に起こった主だった事件の新聞記事を掲載している。記事のレイアウトはそのままに、読みやすいよう活字が打ち直されている。巻頭索引付き。					
R	新聞集成大正編年史 全44巻	明治大正昭和新聞研究会/編	明治大正昭和新聞研究会	1969～	210.69/T2/
R	新聞集成昭和編年史(昭和2年度版～刊行中)	明治大正昭和新聞研究会/編	明治大正昭和新聞研究会	1958～	210.7/S2/
主だった事件の新聞記事を掲載している点では上記の明治編年史と変わらないが、こちらは当時そのままの記事を見ることができる。巻頭索引は付いていない。					

R	<b>新聞集成昭和史の証言 全20巻</b>	入江 徳郎ほか/編	本邦書籍	1983~	210.7/S28/
	内容的には上記の昭和編年史と大きな違いはないが、活字が打ち直され、巻頭索引が付いたことで読みやすさが向上している。				
	<b>写真・絵画集成 新聞の歴史 1~3</b>	羽島 知之/編著	日本図書センター	1997	070.21/H3/
	新聞に載った写真・絵画資料を時代を追って掲載。本のサイズも大きく、見やすい。				
R	<b>日本初期新聞全集 全64巻</b>	北根 豊/編	ペリカン社	1986	Z070.8/N1/
	江戸時代の末期~明治時代の初頭に掛けて発行された新聞232タイトルもの記事を、少しずつ抜粋してまとめたもの。別巻索引付き。				
	<b>福島市史資料叢書 新聞記事集成(複数巻)</b>	福島市史編纂委員会/編	福島市教育委員会	1973他	L211/F3/
	福島市史を編纂する際に使用した参考資料を集めた資料叢書の中で、新聞記事だけを集めたもの。福島市限定ではあるものの、地方史を調べる際には非常に役立つ。				
	<b>「号外」明治史 1868-1912 vol. 1・2・3</b>	羽島 知之/編	大空社	1997	210.6/H2/
	<b>「号外」大正史 1912-1926</b>	羽島 知之/編	大空社	1997	210.69/H1/
	<b>「号外」昭和史 1926-1935 vol. 1・2・3</b>	羽島 知之/編	大空社	1996	210.7/H5/
	<b>「号外」昭和史 1936-1945 vol. 1・2</b>	羽島 知之/編	大空社	1997	070.21/H3/
	新聞記事の中でも「号外」のみを時代別に掲載した特殊な資料。号外は大きな事件が起こればほぼ確実に発行されるため、社会の流れを知るのに役立つ。本のサイズが大きく、読みやすい。				

## 明治~昭和前期の新聞について書かれた本

	<b>毎日新聞の源流 江戸から明治情報革命を読む</b>	今吉 賢一郎/著	毎日新聞社	1988	070.2/I3/
	毎日新聞の創刊~草創期に関わった中心的な人々を、エピソードを添えて紹介している。				
	<b>日本新聞発展史 明治・大正編</b>	大西 林五郎/原著	樽書房	1995	070.21/O/
	明治~大正時代の新聞の発展の歴史を描いた本。政治的側面・軍事的側面など多角的な視点から論じられている。				
	<b>明治新聞事始め「文明開化」のジャーナリズム</b>	興津 要/著	大修館書店	1997	070.21/O2/
	瓦版に代わるニューメディアの誕生事情と、初期新聞記事108話を通して、「文明開化」の時期の人々の動向を探っている。				
	<b>明治のジャーナリズム精神 幕末・明治の新聞事情</b>	秋山 勇造/著	五月書房	2002	070.21/A2/
	ジャーナリズムの先覚者、福沢諭吉・福地桜痴・成島柳北・岸田吟香。彼らが新聞の開拓者となった経緯と、各人の新聞の特色について考察している。				
	<b>大衆紙の源流 明治期小新聞の研究</b>	土屋 礼子/著	世界思想社	2002	070.21/T2/
	朝日・毎日・読売のような全国紙の源流となった「小新聞」。それらが発行され、大衆に受け入れられるまでの経緯と、現在のような形になるまでの移り変わりを描いている。				
	<b>大衆新聞がつくる明治の&lt;日本&gt;</b>	山田 俊治/著	日本放送出版協会	2002	070.21/ヤシ02X/
	明治時代の大衆紙がどのような報道をし、読者や文化にどのような影響を与えていったかを様々な側面から考察している。				
	<b>兵は凶器なり 戦争と新聞 1926-1935</b>	前坂 俊之/著	社会思想社	1989	070.2/M11/
	昭和前期の新聞が政府の言論弾圧にどのように抵抗し、そして戦争へと突き進む政府の方針に屈していったのかを、具体的なエピソードを交えて紹介している。				
	<b>新聞は戦争を美化せよ! 戦時国家情報機構史</b>	山中 恒/著	小学館	2001	070.21/Y1/
	第2次世界大戦に突入していく際、日本の新聞がどのように変わっていったか、政府はどうやって新聞社の人事や記事に介入していったかについて、当時の資料をふんだんに盛り込んで論じている。				